

運動器理学療法学

助教 嶋村 剛史
Takeshi Shimamura

現在の研究テーマと内容

高齢健常者や股関節外傷術後患者等を対象に歩行や起立・着座動作の質を定量化する研究に取り組んでいる。主に、計測制限の少ないモーションセンサを使用し、データの妥当性を検証している。体幹加速度等の変化から周波数解析を用いて規律性・対称性・円滑性などを数値で評価する有用性を検討している。

これまでの研究成果と今後の展開

モーションセンサを使用した歩行、起立・着座動作における質的評価の有用性について報告した。今後は報告した評価の臨床場面におけるリハビリテーション効果を示す縦断的評価としての有用性を検討する。また、さらなるデータ蓄積の一助になるよう姿勢推定ソフトを使用した動画解析の妥当性や信頼性について検討を進めていく。

大学院を目指すみなさんへメッセージ

動作解析など客観的評価の知見は、理学療法の質を大きく高める可能性を秘めています。大学院では、臨床で感じた疑問を科学的に検証し、より効果的な治療法を生み出す一助となります。研究と現場をつなぐ専門家としての第一歩を、ぜひ大学院で踏み出してください。